

第74号

オリガミアンだより

2022年8月14日発行

夏休み子ども折り紙教室



8月23日(火)午前十時10分

交流プラザ コスモスに集合

午前9時半 スタート

正午まで



初めての試みとして開きます。
子どもたちとの交流を楽しみましょう。
クラブの皆さん、積極的に
参加してください。



【対象】事前に申し込んだ20人

参加出来るのは小学生以上（未就学児は参加できません）

小学校1年生～3年生は保護者が同伴すること

【テーマ】フェアリーペンギン、ちょうちんおぼけ、一つ目小僧など

【参加賞】参加者に「ワンピース」などをプレゼント

主催 交流プラザ

協賛 オリガミアン

M・イングリッシュ

特別体験教室を開く



真ん中の2個が女子児童の作品。
ペンギンの帽子だそうです。両側
が男子児童の作品。剣を持ってい
ますね。何も言わなくてもこれだ
けの違いが出ました

8月9日の定例練習日は23日のイベントのPRをしようとラジオ体操を終えた小学生8人（男6人、女2人）に急きょ「体験教室」を呼びかけた。ペンギンの折り方を中心に五色の鶴、ハート、ワンピース、金の鶏など数点覚えてもらったが、ご覧のように習ったばかりの折り紙をいろいろ組み合わせ、新しい作品に仕上げていた。私たちには考えつかない柔軟な頭脳を持っている、と実感した。子どもたちには、もっともっと折り紙に親しんで欲しい。

9月のテーマはペガサスです



猛暑が緩み、空気が澄んで来る秋口。9月のテーマは「天翔けるペガサス」にチャレンジします。ほぼ1年前の「オリガミアンだより」第58号～第61号で4回にわたって特集しましたが、覚えておられますか。私たち指導陣を初め、ほぼ全員がころりと忘れてしまっていると思いますので、時間をかけ、丁寧に練習していきます。ご心配なく。

ペガサスを折り上げるのに飛び切りの上級者は1枚の紙で80工程から140工程くらいかけて完成させるようですが、わが教室ではだれでも折れる方法を模索、頭、胴体を作っておき、そこにかっこいい羽をつけることにします。

ペガサスが完成したら「オリガミアンだより」第69号でご紹介したクリップスタンドで支え、薄い照明を当てれば天空を飛び交うペガサスの完成です。いまから楽しみです。

折る時は1辺15㌢の折り紙が良いと思いますが、折り紙の色はそれぞれのお好みに応じて選んでください。「白」でもよいし、単色おりがみの「うすみず」もきれいな気がします。

9月から練習日はふつうに戻ります。9月6日、9月20日

《訂正》 第58号 1枚目 上から16行目 自身がない ⇒ 自信がない

ちょっといいお話

折り紙を通じて知り合ったご婦人からうれしいお便りが届きましたので、ご紹介しましょう。

3年ぶりに遠くからやって来る4歳の男の孫と小学4年生の女の子の孫との遊びのための折り紙の準備を1週間近くかけて懸命にやりました。『オリガミアンだより』を見ながら、2人が喜びそうなものをたくさん折ってみました。

作戦も考えました。リビングのあちこちに隠して折り紙宝さがし。見つけるたびに、新鮮な驚きがあるでしょう。まず「パンダ」で歓声、ガンダムに似ている「鬼の顔」はメタリックの大判を作ったので、男の子が喜ぶ、「一つ目小僧」と「ちょうちんおばけ」で笑う、「ペンギン」を縦に積む、「コインが消える箱」はただの箱と思わせておき、コインを入れて、消して、びっくりさせる。「二つの輪」を解体するとなんと一枚の紙になるのを見せてもう一度びっくり、そして、「マジック・ローズ・キューブ」がバラの花になるところを披露し、びっくりさせて折り紙マジックショーを締める。折り紙は4歳くらいから折れると聞いたので、ショーが終わったら、姉と一緒にチャレンジさせてみよう…。

折り紙宝さがしは姉と張り合って大盛り上がり、コインも失敗しながらも消えだし、「二つの輪」にも目を見張り、「マジック・ローズ・キューブ」は「きれい！」と歓声を上げました。でも、パンダを教える段階で、私が折り方を忘れて戸惑っているうちに、小4の孫が得意な折り紙を披露、そして4歳の孫がじじ・ばばと遊ぼうと持ってきたシンカリオン(新幹線のロボット)での戦いへと移って行きました。

まあ、いいか。「パンダ」はたくさん持って帰らせたい、次は「パンダ」の虜よ、と心に誓うおばばでした。